



師匠のスイング トレード

悩める弟子への贈り物

ひでぼー

スイングトレード

スイングトレードについて

まずはスイングトレードについてですね。

株のトレード方法にも色々な種類がありますが、そのひとつがスイングトレードです。

ゴルフや野球の素振りのスイングと同じスイングです。

振り子のように往復する株価の上下を、一度の上下で二度利益を出しちゃうぞっ！というのがスイングトレードの考え方です。

上がり始めに買い、下げ始めに売る、（通常の買い）下げ始めに売り、上げ始めに買い戻す（空売り）のが一般的です。

最初から、どうしても行って来いの両方で利益を上げたくなると思いますが、

慣れるまではトレンドと同じ向きのサイクルの時だけを狙ってポジションを取る方がミスも少なく利益を出しやすいです。

私が専業になった時は、デイトレードがこれから世の中に浸透し始めるぞって時で、

3、4年はとにかくデイトレでしたが、今では引き出しのひとつにすぎないという始末です。

ここ4年くらいはほぼスイングオンリーといっても過言ではありません、個人的にはスイング最強説です。

私がスイングをマスターしようと思ったのはいくつか理由があって、

1. デイトレのスピードについていくのに疲れた
（ライブドア事件があって東証のシステムが改善されてからさらに速度UP、銘柄によっては至難の業かもしれないw）
2. デイトレだと窓を開けた分の利益がとれなくてもったいない
3. デイトレだと1日分の動きの中でしか利益を出せない
（2、3はもちろん損失も1日分の動きに制限されるのでメリットでもある）
4. 下げトレンドの時にも安心して安定した利益を出したい
5. スイングを理解しマスターしてデイトレをすればもっと利益を出せると思った

思い出せるのはこんなところでしょうか。

スイングのマスター方法には色々あると思いますが、

私の場合は、スイングをマスターするために1年間ひとつの銘柄だけで取引をする事にしました。

値動きが少ない時は、チェックする監視銘柄をいくつか決めてその中でローテーションするのも良いと思います。

又は、休むも相場ですw

最近は毎年ほぼ1銘柄でやってます（過去に取引した銘柄はその後チェックする監視銘柄です）

去年と今年はソニー（6758）一昨年がトヨタ（7203）その前がみずほ（8411）その前がソフトバンク（9984）でした。

その前は「1年間空売りだけで取引してみる」という無謀なチャレンジもしましたw

最初は良さそうな銘柄をスクリーニングして週毎にピックアップしてましたが、段々その作業がめんどくさくなってきたのと、

ピックアップしてた銘柄の中でこっちの方がもっと良かったとか反省と後悔が目立つようになって、

その行為を1銘柄に絞る事で、時間の短縮と、上げ下げのスイングのスキル習得に向けようと思ったからです。

スイングは短期、中期、長期投資と人それぞれに色々活用出来るのでぜひマスターして欲しいトレード方法です。

サイン・サイクル・トレンド

サイン・サイクル・トレンド

基本的に日足のチャートを基本にして考えています、特に指定が無ければ日足と思って下さい。
チャートは株価の上下を表すローソク足の集合体です。
データの集合体がファイルであるのと同じように、ローソク足の集合体がチャートになります。
ローソク足以外のチャートもいくつかありますが私はローソク足のチャートを使用しています。

チャートには一般的にサイン、サイクル、トレンドがあります。
サイン＝シグナル、サイクル＝リズム、波動とも言います。ここではサインとサイクルに統一しています。

サインが出て、サイクルが生まれ、トレンドになります。
私の場合は、上げから下げ、下げから上げの転換を示すものだけをサインと呼んでいます。
トレンド継続のものなど、他のものはサインと呼ばないようにしています。

発生順

サイン：転換の予兆やシグナルとなるもの、ローソク足の1日だけや何日かの組み合わせで判断するものなど多数
サイクル：上げ、下げのリズムと言っても良いです、幅や期間、回数などを含むもの
トレンド：いくつかのサイクルが連続するもの、ブレイクするまで続くのが特徴

重要順

トレンド：トレンドの方向を見極められるようになる事、そのトレンドに乗り、絶対に逆らわない事が重要です。
サイクル：サイクルを把握する事、一般的なもの、季節的なもの、個別銘柄独特のもの等があります。
サイン：サインに気づく事、これがサインだとわかるような目を養う事が重要です。

サイン、サイクル、トレンドを理解して実践すればスイングマスターはすぐ目の前です。

トレンド

トレンドの方向を見極める

スイングだけではなくデイトレードや長期投資、全てのトレードに言える事ですが、取引しようとポジションを取る時、トレンドは上下どっちに向かっているかを考え、トレンドに絶対に逆らわない事が大切です！

売買サインを見逃し、一つ目のサイクルも見逃してもトレンドの方向が合っていれば、ミスにならず十分利益を出せるし、又、ミスって逆のポジションを取ったとしても大怪我しなくて済みます。格言の「頭と尻尾はくれてやれ」思想でワンテンポ遅れでも十分です。

一番重要なトレンドの方向を見極める方法のひとつとして、簡単なものでは移動平均線（Moving Average以後MAに略）を見る事です。その他にも正しいトレンドラインを引ける事などがあります。

移動平均線の見方

私がよく使うのは5MAと10MAで短期、（5MAか10MA）と25MAで中期、25MAと75MAで中・長期のトレンドを見ています。単純に移動平均線の角度がトレンドの向きと強さを表し、株価の位置も重要になります。

例えば、MAは下向きなのに株価はMAの上にある場合は、それまで下げていた場合は上げ転換のサインになる場合もあるし、MAから離れすぎた反動で一時的に戻る場合、またはだましなどもあります。基本的には株価、短いMA、長いMAの3点セットでトレンドの順方向になります。これが乱れた時がトレンド転換のサインと見る事もできます。サインが出たらすぐポジションを取る、取らないは自分のルールを作って従って下さい。

トレンドが転換をする場合は、必ず短いMAから長いMAの順でトレンドの方向に向く事になります。当たり前ですが重要ですw 慎重にいくならMAの位置だけでなく向きも変わったら売買するようにした方が利益は少なくなりますがミスも少ないです。

最初のうちは利益よりもルール作りとミスをなくす事に重点をおく事をお勧めします。MAの向き、角度、株価との位置もトレンドを知る重要な指標になりますので、改めて意識して見直してみましょう。スイングは一週間から一ヶ月くらいなら、5MAと25MAを基準に考えるのが良いと思います。一ヶ月の稼働日数は約20日ですが25MAを多くの人が基準に使用しています。

もうひとつMAの重要な点は株価の抵抗や支持になるという事も覚えておいて下さい。経験上、75MAはあまり抵抗や支持にはなりません、25MAの方が抵抗や支持になります。200MAは強力な抵抗や支持になります、基本は長いMAの方が強い抵抗や支持になります。週足の26MAや52MAも強力な抵抗や支持になります。一度であっさり突破する事もあるが、一度抵抗や支持したMAやトレンドラインは三度維持し四度目で突破する事が多いです。

トレンドラインの引き方

直近の最高値（最安値）とその前かその前の前の最高値の、株価の上と上、株価の下と下で線を結ぶのが一般的です。トレンドには性質があって、「ブレイクするまで継続する」というものがあります。格言と思って覚えておいて下さいw トレンドラインを自分で引いてみる事で、そのトレンドの角度による強さ、期間による長さ、方向等を実感できるので、ぜひ引けるようになって下さい。一般的に角度がきついものは期間は長くないものが多いです。

慣れるまではトレンドと同じ向きのサイクルの時だけを狙ってポジションを取る方がミスも少なく利益を出しやすいです。

サイクル

サイクルを把握する

一般的なもの、季節的なもの、個別の銘柄独特のもの等サイクルにも色々ありますが、色々な銘柄をみたり、ひとつの銘柄に絞ったりする事で把握できるようになってくると思います。後で説明する時間の概念が大きく関わってきます。

一般的なもの

値段の幅と期間で一定のリズムを作ります。

季節的なもの

決算発表、日銀短観、GDPの発表など定期的なリズムを刻みます。大統領選挙の前の年、干支、節分天井彼岸底などもあります。花粉症関連、ビール関連、クリスマス関連など季節に関係するものもあります。

個別銘柄独特なもの

その銘柄独特の値動きと時間の経過でリズムを作ります。オリンピックやワールドカップなど定期的なイベント関連などがあります。

エリオット波動理論

エリオット波動とは、R・N・エリオットによって見いだされたものです。株式相場は五つの上昇波とそれに続く三つの下降波というリズムで反復を繰り返すと考えられています。一つのサイクルには五つの上昇波（1,2,3,4,5）三つの下降波（A,B,C）計8つの波動があります。

サイン

サインに気づく事

その場ではなく、後になっても良いのでこれがサインだとわかるような目を養う事が重要です。
サインはサイクルの転換点でもあるし、トレンドの起点でもある事がよくあります。
その起点をブレイクするか、維持するかでトレンドの方向が転換するので非常に重要です。

主なサイン

買いサイン

- MA判断 : 短期のMAが長期のMAを下から上に抜いた時、ゴールデンクロス
- 指数判断 : 指標RSIが30以下、ストキャスティクスが20以下、CCIが-100以上、MA乖離が大きい
- 日足判断 : 明けの明星、赤三兵、三空叩き込み、たくり線、勢力線（詳細はローソク足の項で説明します）

売りサイン

- MA判断 : 短期のMAが長期のMAを上から下に抜いた時、デッドクロス
- 指数判断 : 指標RSIが70以上、ストキャスティクスが80以上、CCIが100以上、MA乖離が大きい
- 日足判断 : 宵の明星、三羽鳥、三空踏み上げ、首吊り線、上位上放れ陰線（詳細はローソク足の項で説明します）

ゴールデンクロス

一般的に短期MAは26週、長期MAは52週がよく使われます、それより短期の場合はミニゴールデンクロスとが言われます。
長期のMAの向きが下向きの場合は、だましとなる確率が高いです。デッドクロスは向きが逆になり当てはまりません。

指数やローソク足の詳細は株価分析の章で説明します。

取引ルール

取引ルールの大切さ

失敗も成功も全て自分の判断と受け止めて、同じ失敗は二度としないと自分のルールに追加・修正していき血や肉にしてひとつずつステップアップしていく事が大切！

失敗だけでなく、成功も分析してルール追加・修正すると、失敗を繰り返さずに何度も成功を経験できるようになるし、失敗だけから学ぶより2倍ルール作りが早くなり、精度も上がるのでお勧めです。

トレード日誌をつけて、失敗した事、成功した事、気づいた事をピックアップして自分なりのルールを作りましょう。

どうして失敗したのか、その失敗を二度としないという強い意志と同じ様な場面がきたらどうすれば良いのか、自分のルール作りとそのルールを守る事、これが一番大切！

1. 自分のルールをひとつずつ検証しながら作る事
2. そのルールを守る事

文章で見ると簡単に見えるけどw とても大切で重要な事です。

これが出来れば専業でもいけます。

私は専業で今年で9年目ですが上記の事が一番大切な事だと思っています。

取引ルールの確立が自分のスタイルの第一歩になり、当然人それぞれのスタイルに分かれていくと思います。

この本に重要で大切な事を沢山書いたつもりなので、

ぜひ自分の取引ルールを作り、しっかりとしたスタイルを確立して、負けない稼げるトレーダーを目指してください。

目標設定

3つの目標設定と今年の目標

小目標、中目標、大目標を設定して、目指す方向性をハッキリ示し、やりたい事やるべき事を視覚化させる事が大切です！

ホップ、ステップ、ジャンプとステップアップしていけるような目標を設定しましょう。

大目標は、最初漠然と雲をつかむような、夢のようなものでも良いです。

小目標から少しずつ一歩ずつ近づいて行きましょう。

各目標に期限をつけるとさらに良いです。

参考までに、俺は海賊王になるッ(°▽°)！ではなくて、こんな感じです。

- 最終目標 1億円を安定的に運用する(2025)
- 中間目標 デイトレ・スイングを駆使して安定して月100万円稼ぐ(2015)
- 初期目標 デイトレ・スイングを駆使して安定して週010万円稼ぐ(10年以内)
- 今年の目標 厄年なので控えめにいつもの半分の月20万円、年間240万円

今年の目標を半分にしたらほぼクリアになってしまうので元に戻しました(´д`)

初期目標はほぼクリア

中間目標は年に1、2回ある程度です。まだクリアしていないレベルです(´д`)

中間目標がクリア出来るようになれば、自然に加速して最終目標までいけると思っています(・▽・)

サラリーマン生活が長かったので安定して稼ぐことに重点が置かれた目標になってます・w・

一部のカリストトレーダーのように雪だるま式に稼ぐような考えがないので、

運用資産の伸びはサラリーマンの昇給程度です(´д`)

目標設定次第でこれから先の道が変わってきますのでとても大切です！

先を見据えて、小、中、大目標を設定してみてください。

分析方法

分析の方法と順番

株価の分析を大きく分けると2つ

チャートや指標から判断するテクニカル分析と、経済状態や業績等で判断するファンダメンタルズ分析です。

私の場合は、まずファンダメンタルズ分析をしてそれからテクニカル分析をします。

ファンダメンタルズを踏まえた上で現状株価はどうかを考えた方がトレンドの見極めに間違いが少ないからです。

ここ数年基本的に年間1銘柄で取引していますが、新しい銘柄を見つける時には、

まずスクリーニングして、ファンダメンタルズ、テクニカルの順で分析をします。

ファンダメンタルズ分析

四季報を一通り見ます。

決算月、業種、四季報記者の分析、有利子負債の額、私が一番重要視するのは1株利益です。

その他気になる事をピックアップしてネットなどで調べます。

日経225銘柄か否か、業界平均と比較してPERとPBR、ROEを調べます。

信用貸借銘柄か、信用倍率を見ます。

配当狙いの場合は、配当性向や配当利回りを調べます。

今期の利益（又は予想）と来期の利益予想を比較して伸び率を見ます。

テクニカル分析

月足、週足、日足の順に各指標とMAを見ます。

月足：RSI、ストキャスティクス、12MAで現在の大きいトレンドの流れと水準を見ます。

週足：RSI、ストキャスティクス、52MA、26MAで最近のトレンドとサイクルを見ます。

日足：RSI、ストキャスティクス、200MA、130MA、75MA、25MA、10MA、5MAと、他の指標で最近のトレンド、サイクル、サインを見ます。

両方の分析によって、買い、売り、なにもしないの3種類から選択します。

買いか売りの場合は、いつ、いくらで、保持期間をどのくらいなどの目安をたてます。

あとは相場の地合いや流れ、勢い、雰囲気などを感じながら、分足でタイミングを取り買いか売りのポジションを取るだけです。

時間の概念

短期・中期・長期

短期・中期・長期の期間はどれくらいなのか人それぞれだと思いますが、私の考えてる期間はこの5段階です。

1. 超短期 デイトレード
2. 短期 1週間以内のスイング
3. 中期 1週間以上2、3ヶ月以内のスイング
4. 長期 1年（配当狙いとか）
5. 超長期 ずっと持ち続けたいとか（配当・優待など）

基本は短期と中期のスイングで、短期でスイングしながら、中期の売買タイミングを計る感じです（・∀・）
たまにデイトレをしたりします。

取引方法

超短期・短期

- デイトレード、スイングトレード（順張り・逆張り）

中期・長期・超長期

- スイングトレード（順張り）
- 酒田五法

三山：大天井を表す線にして底値より波乱を繰り返しながら順次上進して高値より下押す。
これを三度同じ運動を繰り返すという体型にして、大天井となるものなれば、断固売り放つをよしとす。

三川：三山の反対にして底値にて突っ込みては戻すという運動を繰り返す（三川＝三線）

三空：相場が相当上進し、ますます人気旺盛にして空間を生じ、上放れが三回連続するをいう。
三度目の放れの後、かぶせ線や同時線が出れば大天井なり。三空に複線と単線あり

三兵：陽なら陽、陰なら陰3本以上同一方向に平行して並ぶ場合を差す。
ジリ高、ジリ安となるもの「赤三兵、三羽鳥」

三法：売り、買い、休み。戦術
「上げ三法、下げ三法、上放れ三法、下放れ三法」

シミュレーション

仮想取引

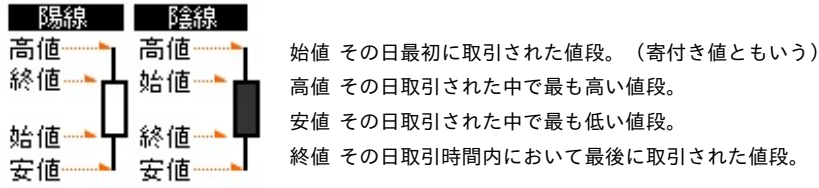
自分の取引ルール、スタイルが確立するまで、実際の取引は控える。

車の免許を取る時に教習所に通うように、実際の取引をする前に仮想取引をする事をお勧めします。
株価の分析、予測をして、売買したつもりでその後の値動きを確認する事でシミュレーションします。
最低1ヶ月かけて、ルール作成、目標設定、分析、取引方法を決めて自分のスタイルを確立させます。
一つ一つの分析、判断、行動を自信や経験に繋がります。

高い勉強代を払わずに分析能力、判断能力、経験を身に付ける事が目標への近道じゃ(´Д`)y一一〜

ローソク足

ローソク足の基礎

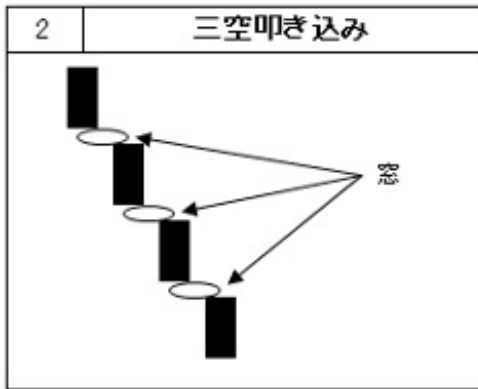


陽線 始値よりも終値が高い場合には白地で表す。

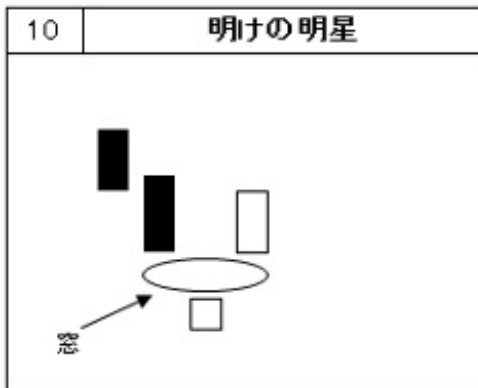
陰線 始値よりも終値が低い場合には黒地で表す。

ローソク足の応用

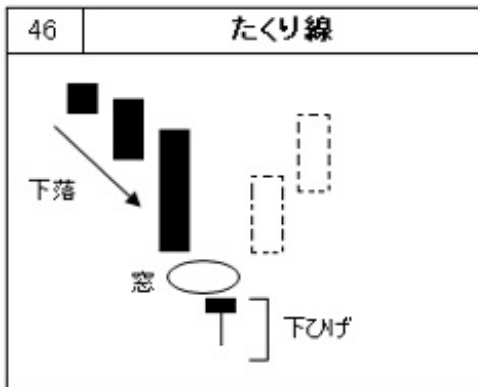
- 買いサイン (三空叩き込み、明けの明星、たくり線、勢力線、赤三兵)



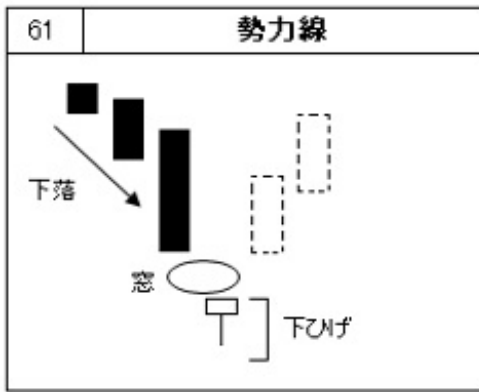
下落途中で、
悪材料が出た事などで陰線が4本連続し、
各陰線の間「窓」開けが生じたもの。



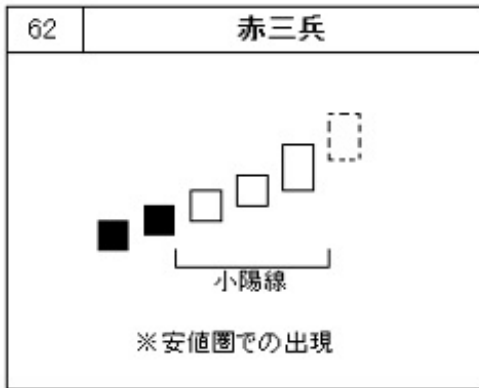
前後のローソク足の間に「窓」が開き、
「窓」開けた「陽または陰の星」が出現したもの。



下落途中で、
大陰線が出現し、翌足は「窓」を開け下入れし
「陰のカラカサ」が出現したもの。

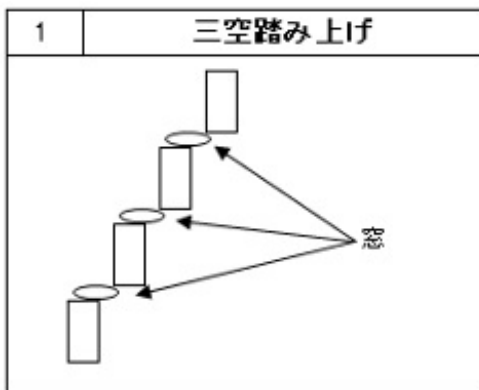


下落途中で、
「窓」を開けて下放れし、
「陽のカラカサ」が出現したもの。

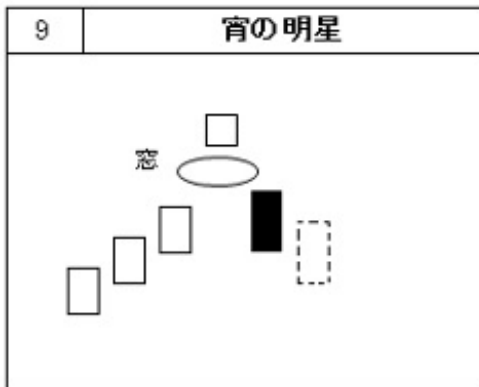


安値圏でもみ合い相場が続いたのち、
小陽線が3本連続して出現したもの。

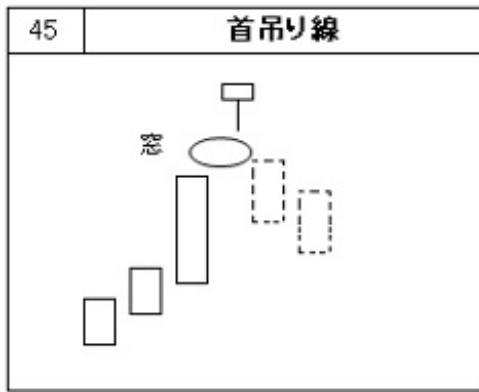
- 売りサイン（三空踏み上げ、宵の明星、首吊り線、上位の上放れ陰線、三羽からず）



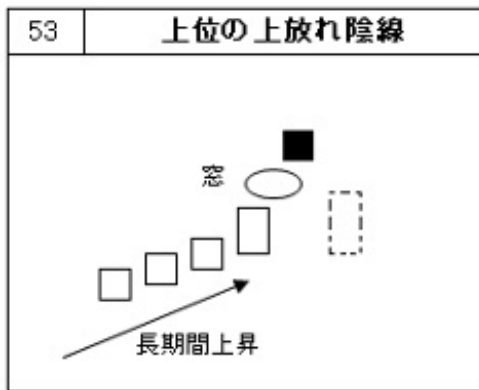
上昇途中で、
予想をはるかに超える好材料が出た事などで、
陽線が4本連続し、各陽線の上に「窓」開けが生じたもの。



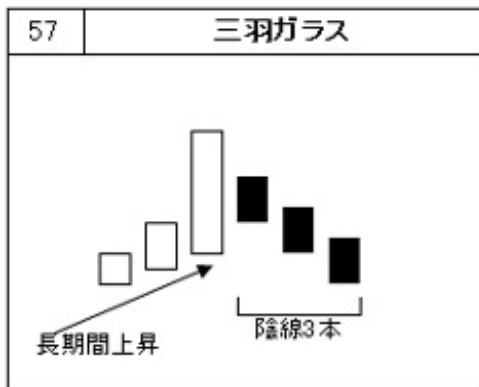
「星」の出現をきっかけに上昇相場が下落に転じたもの。



しばらく続いた上昇過程で、
「窓」を開け上放れて出現した「陽のカラカサ」。



上昇相場が続く中、
「窓」を開けて上寄りしたものの、
最終的には陰線引けしたもので、
かつ引け値は前足の引け値より上位にあるもの。



上昇相場が続く中、
陰線が前足の陽線の引け値より下位から出現し、
かつ陰線が3本連続したもの。
なお、2番目・3番目の陰線の寄り付きは、
それぞれ前足の引け値を上回る。

指標

各指標の意味と算出方法

私が普段スイングトレードで使用している指標の意味と算出方法の説明です。
指標の見方や使い方についてはテクニカル分析の項で説明します。

1. 移動平均線 MA
2. 出来高
3. ストキャスティクス
4. 移動平均乖離率
5. DMI
6. CCI
7. RSI
8. 一目均衡表

1.MA (Moving Average) 移動平均線

日々の動きを平滑化し株価のトレンドの方向を見ます。

市場参加者の平均コストを算出します。

単純移動平均線、加重平均線、指数平均線などがあります。

過去n (分、日、週、月、年) 間 (立合日ベース) の終値の平均値を表します。

計算式

5MA単純移動平均線 (当日終値+前日終値+2日前終値+3日前終値+4日前終値) ÷5

2.出来高

売買株数です、相場の勢いを見る指標です。

3.ストキャスティクス (Stochastics)

モメンタム、オシレーター系指標、振幅を測ります。

過去9日間における高値、安値に対して、当日終値がどのような位置にあるのかを数値化、
価格の推移傾向を判断しようとするもの、0%から100%の範囲で推移します。

%Kラインと%Dラインという2本の線 (数値) を使用します。

通常%Kラインは実線、%Dラインは破線で表示されます。

計算式

%Kラインの算出式 $\%K = \{ (\text{当日終値} - L9) \div (H9 - L9) \} \times 100\%$

H9 : 過去9日間の最高値 L9 : 過去9日間の最安値

%Dラインの算出式 $\%D = (H3 \div L3) \times 100\%$

H3 : (当日終値 - L9) の3日間合計 L3 : (H9 - L9) の3日間合計

4.移動平均乖離率

移動平均線の平均値が、離れている度合いを表します。

乖離が大きくなると、株価は乖離を少なくする方向に動く傾向にあることに着目した指標

前日終値が指定期間の移動平均値より高い場合には、移動平均乖離率はプラスに、

前日終値が指定期間の移動平均値より低い場合には、移動平均乖離率はマイナスになります。

計算式

移動平均乖離率 = (前日終値 - 指定期間の移動平均値) ÷ 指定期間の移動平均値 × 100

5.DMI（Directional Movement Index）方向性指数

モメンタム指標

トレンドの「方向性」に着目した指標で、ある一定期間内における値動きの方向性を数値で示します。

RSIなどの逆張り系の指標が一方に傾くトレンド相場の時に役に立たない欠点をカバーします。

上昇力を表す+DIと下降力を表す-DIを用いて判断します。

計算式

①横軸に時間の経過（日数）をとる。

②縦軸に指数（「+DI」及び「-DI」）をとる。

③「+DM」及び「-DM」を下記計算式から求める。

+DM=当日の高値-前日の高値、-DM=前日の安値-当日の安値

ただし、以下の条件に該当する時は、「+DM」または「-DM」を0とします。

+DM・-DMともに0以下の場合、双方共に0に修正

+DM>-DMの場合、-DMは0に修正、

+DM<-DMの場合、+DMは0に修正

+DM=-DMの場合、双方共に0に修正

④「TR」を下記計算式から求める。

以下の計算値で最大となるものを採用

当日の高値-当日の安値、当日の高値-前日の終値、前日の終値-当日の安値

⑤「+DI」及び「-DI」を下記計算式から求める。

+DI= { (計算期間の+DMの合計) / (計算期間のTRの合計) } ×100

-DI= { (計算期間の-DMの合計) / (計算期間のTRの合計) } ×100

6.CCI（Commodity Channel Index）

モメンタム、オシレーター系指標

サイクルや周期性が強い相場と相性が良いといわれている指標です。

値動きの振幅に対して現在の乖離がどの程度なのかを指数化したものです。

元々は商品相場などで周期的な相場の転換点を探するために開発された指標ですが、

現在は商品以外の金融商品などにも幅広く用いられています。

計算式

中値 = (高値 + 安値 + 終値) ÷ 3

中値平均 = n日間の中値の平均

絶対偏差 = (中値 - 中値平均) の絶対値

CCI = (中値 - 中値平均) ÷ (0.015 × (n日間の絶対偏差の平均))

7.RSI（Relative Strength Index）相対力指数

モメンタム、オシレーター系指標、振幅を測ります、逆張り系指標

過去一定期間の変動幅における上昇分の割合から、買われ過ぎ売られ過ぎを示します。

具体的には、過去一定期間の上げ幅（前日比）の合計を、

同じ期間の上げ幅の合計と下げ幅の合計（いずれも絶対値）を足した数字で割って、

100を掛けたもので、0%から100%の範囲で推移します。

計算式

RSI = { 上げn日平均 ÷ (上げn日平均 + 下げn日平均) } × 100

上げn日平均 = { 前日までの上げ幅平均 × (n - 1) + 当日の上げ幅 } ÷ n

下げn日平均 = { 前日までの下げ幅平均 × (n - 1) + 当日の下げ幅 } ÷ n

8.一目均衡表

時間論、波動論、値幅観測論による時系列指標。

相場は買い方と売り方の均衡が破れた方に動くという考え方に基づく。

相場の本質的動因を値幅（株価）より時間（日柄）にあるとするチャート。

ローソク足と5本線により時間論、波動論、値幅観測論を網羅した指標。

計算式

転換線：短期移動平均（9日）売り買いの圧力の短期的な均衡点。

基準線：中期移動平均（26日）相場の中期的な均衡点と同時に、潜在的なトレンドを決定する線、相場そのものの「基準」となる線なので均衡表において最重視。

先行スパン1：転換線と基準線の平均値を26日先に記入したもの、中期的な株価の趨勢を表す。

先行スパン2：過去52日間の平均値を26日先に記入したもの、長期的な株価の趨勢を表す。

遅行線：26日前の株価。

テクニカル分析

各指標の見方・使い方

私が普段スイングトレードで使用している指標の見方や使い方について説明します。

1. MA
2. 出来高
3. ストキャスティクス
4. 移動平均乖離率
5. DMI
6. CCI
7. RSI
8. 一目均衡表

1. MA (Moving Average) 移動平均線

テクニカル指標、向きや角度でトレンドの勢い、方向、期間を計ります。

私の使用しているツールは単純移動平均線です。

平均線が上向きなら上昇トレンド、平均線が下向きならば下降トレンドを表します。

支持線や抵抗線の役割も果たします。

過去n (分、日、週、月、年) 間 (立合日ベース) の終値の平均値を表します。

分足: 5、10、15、60 (1時間) 売買のタイミングを計ります。

日足: 5、10、25、65 (13週)、130 (26週)、200 (10ヶ月) 最重要視しています。

週足: 13 (65日)、26 (130日)、52 (1年)トレンドをつかみます。

月足: 60 (5年)、120 (10年) 大きな流れを見ます。

年足: 大きな流れを見ます。

2. 出来高

出来高指標、売買株数を示し、相場の勢いを見ます。

出来高と株価は非常に関係が深く、常に両者の動きに注目する必要があります。

過去と最近、先月と今月、先週と今週、前日と当日などで大小を比較します。

売買しやすいように、出来るだけ出来高か売買代金TOP30に入る銘柄で取引しています。

株価上昇、出来高多い = 相場が強い

株価上昇、出来高少ない = 相場に弱さを内包

株価下落、出来高多い = 相場が弱い

株価下落、出来高少ない = 相場に強さを内包

3. ストキャスティクス (Stochastics)

モメンタム、オシレーター系指標、振幅を測ります。

価格の推移傾向を判断しようとするもの、0%から100%の範囲で推移します。

%Dラインがより重要であり、主要な相場転換サインを出します。

%Kラインは%Dラインより敏感な線。

ストキャスティクスなどのオシレーター系の指標は、保ち合い相場で効力を発揮します。

大きなトレンドの初期段階ではさほど有効ではなく、むしろダマシとなるケースもあります。

トレンドの終了が近づくとつれて、再び有効となってきます。

%Dが70%以上 高値警戒圏 (市場は買い越し状態)

%Dが30%以下 底値圏 (市場は売り越し状態)

%Dが行き過ぎの水準で、価格と反対の動きをする時は相場反転の天井底値に近いサイン。

%Kと%Dが同一方向で、%Dの山又は%Dの谷の右側で、クロスがおきた時が最も強いサイン。

買いサイン %Kが%Dを上抜ける場合

買いサイン / 売りが下抜ける場合
売りサイン %Kが%Dを下抜ける場合

4.移動平均乖離率

移動平均線の平均値が、離れている度合いを表します。

乖離が大きくなると、株価は乖離を少なくする方向に動く傾向にあります。

25MA、200MA乖離率を見ます。

25MA：5%以上になると相場が目先反転し、10%以上になると天底になりやすいです。

200MA：期間が長いMAほど乖離率の振幅が大きくなる傾向にあり、40%以上が天底目安です。

個別の銘柄によって特徴があるので、過去を遡って把握しておく事が大切です。

5.DMI（Directional Movement Index）方向性指数

モメンタム指標

+DIが-DIを下抜けた場合は売りサインとなります。

+DIが-DIを上抜けた場合は買いサインとなります。

+DIと-DIの幅が大きい程トレンドが強く、幅が小さい程膠着状態にあります。

ADXとの併用

±DIのクロス後に、ADXが下落してきた-DIを上抜いた場合に、

買い向かうことでダマシを軽減できます。

逆に、±DIのクロス後、ADXが下落してきた+DIを上抜いた場合は売りサインとなります。

6.CCI（Commodity Channel Index）

モメンタム、オシレーター系指標

一般的には、株価に相反して動いた場合はトレンドの転換と評価され、

+100%を超えた時点を買ひ、その後+100%を割り込んだ時点で手仕舞い、

-100%を割り込んだ時点で売り、その後-100%を回復した時点で手仕舞いと判断します。

7.RSI（Relative Strength Index）相対力指数

モメンタム、オシレーター系指標、振幅を測ります、逆張り系指標

過去一定期間の変動幅における上昇分の割合から、買われ過ぎ売られ過ぎを示します。

0%から100%の範囲で推移します。

70%超えは買われ過ぎ、30%割れは売られ過ぎの水準。

70%を超えた後、再び70%を割り込んだ時が売りサイン。

30%を割り込み、再び30%を超えてきた時が買いサイン。

RSIは70%以上や30%以下の水準で推移するケースが多く、

RSIがその水準に達した場合でも、すぐに逆張りをおこなわず、

RSI自体のトレンド転換を見極めることが重要です。

8.一目均衡表

時間論、波動論、値幅観測論による時系列指標。

転換線：基準線を上回れば買い、下回れば売りサイン。

基準線：上向けば買い、下向けば売りサイン。

株価：転換線を上回れば買い、下回れば売りサイン。

先行スパンAと先行スパンBに挟まれたゾーンを抵抗帯、又は雲という。

株価が雲より上にあれば下値支持、抵抗帯より下にあれば上値抵抗。

この幅の厚みが抵抗・支持力の強弱を示す。

先行スパンAと先行スパンBがクロスする箇所は変化日、相場のターニング・ポイントとなりやすい。

ファンダメンタルズ分析

ファンダメンタルズ分析について

ファンダメンタルズは、

広い意味では世界経済や情勢＞（アジア経済や情勢）＞日本経済や情勢＞

個別企業の経済や地域や業況＞個別企業の利益等になります。

簡単に言うと景気が良いか悪いかで、企業の財務状態から見た健康診断です。

各個別の企業の情報は決算内容や四季報の情報やニュース等で判断しています。

証券会社のHPでも四季報は無料で見られる所もあるので是非見て下さい。

企業を探すのはとりあえず、テクニカルにスクリーニングをかけて、ひっかかったもので興味のあるものをピックアップして、

その企業の四季報を一通り見てファンダメンタルズ分析した上で、もう一度テクニカルにトレンドを判断するのが良いです。

多少面倒で時間もかかるとは思いますが、テクニカルだけを見て、ファンダメンタルズを見ないのは、

外見だけを見て性格を見ないで結婚するようなものです。

パチンコやパチスロに例えると打つ台を選ぶのがテクニカルで、お店選びがファンダメンタルズになります。

良いお店と良い台を選べばその分、勝利や利益が増える確立も上がるはずです。

短期トレードでも正確なトレンド分析には重要になりますので是非ファンダメンタルズも分析してみてください。

四季報の見どころ

業種 業界平均などと比較

決算月 配当の月はいつか

有利子負債の額 ゼロは無借金経営

売上・営業利益 本業の売上・利益は毎年増加しているか

経常利益・利益 経費や本業以外の利益・損益はどうか

1株益 増加の割合や、毎年増加しているか

配当金 配当性向や配当利回り

キャッシュフロー 営業CF・投資CF・財務CF・現金

株主比率 外国・浮動株・投信・特定株

株価÷来期の1株益＝予想PER算出

東証一部銘柄の場合、東証一部平均と比較（約20倍）、業種平均と比較して割高・割安な銘柄を見つける。

キャッシュフロー

営業CF 企業の営業活動から得られた資金。

投資CF 設備投資、有価証券の購入・売却、資金の貸付・回収など投資活動で生まれる資金。

フリーCF 営業CFと投資CFの和。企業が配当、自社株買い、負債軽減などに自由に使える資金。

財務CF 営業活動と投資活動を維持する為に、どの程度の資金を調達し、返済したかを示す。

キャッシュフロー

● 成長安定型

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「+」 「+」 「+」 「-」

営業活動、投資活動の双方から資金が流入し余剰資金が潤沢な状態にあり、一般的に安定している企業。

新たな投資を控え、財務体質の改善を図っているケースと、

新規の投資を行おうと機会を伺っているケースが想定されるが、そうした状態が長引けば資金効率の悪化を招く恐れもある。

配当や自社株買いなどの株主還元を力を入れている企業にも見られるパターン。

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「+」 「-」 「-」 「+」

本業が順調に推移しキャッシュを生み出している中、積極的に新たな投資等を展開している。

フリーCFで賄えない部分を借入金等外部からの資金調達を行っている。

成長企業によく見られるパターン。

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「+」 「-」 「+」 「+」

本業が順調に推移しキャッシュを生み出している中、現状維持程度の投資等は展開している。

設備投資は営業CFの範囲内で賄いフリーCFがプラスにある中で、借入金等外部からの資金調達を行っていることから、将来の投資に向け何らかの準備を進めている可能性がある。安定企業といえるが、CFのパターンとしては比較的珍しい。

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「+」 「-」 「+」 「-」

本業は順調に推移、設備投資を営業CFの範囲で賄っている上、余剰資金で借入金を返済し財務体質の改善を図っている。

安定企業に見られるパターン。

● リストラ型

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「-」 「+」 「+」 「-」

本業不振の状態にあり、過剰な有価証券や固定資産を売却する事で、借入金等の返済を行い総資産の圧縮を図っている。

リストラ中の企業に見られるパターン。

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「-」 「+」 「-」 「+」

本業不振の状態にあり、過剰な有価証券や固定資産を売却しても資金不足の為、借入金の増加で資金不足を賄っている。

リストラ中の企業に多く見られるパターンだが、フリーCFがマイナスである分、上記のパターンよりやや厳しい状況にある。

● 高リスク型

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「-」 「-」 「-」 「+」

本業不振にある中、借入金等の増加により、リスクをかけて新たな事業投資等を行い、本業の復活を目指している可能性がある。

一見、攻めの経営活動を行っているようにも見えるが、現状CFを生み出せる部門がない中で、非常にリスクな行動。

営業CF 投資CF フリーCF 財務CF

「-」 「-」 「-」 「-」

本業不振で資金不足の中にあるにもかかわらず、設備投資と借入金の返済が同時に行われ、資金逼迫の危険な状態にある。

破綻企業のほとんどがこのパターン。

相場道

誰かが言っていた尊いお言葉

熟練トレーダーへの道

- 毎日を新しい気分で迎える
- 己の損失や利益から学び、貴重な資産を守る
- 逸失利益は損失よりもましである
- 頭と尻尾はくれてやれ
- 言い訳は一文の得にもならない

トレードにおける7つの罪

1. 罪 すぐに損切り出来ない事
2. 罪 利益を勘定する事
3. 罪 時間軸を変更する事
4. 罪 より多くを知ろうとする事
5. 罪 過度に自己満足に陥る事（快晴の時こそ警戒心を強める）
6. 罪 間違った勝ち方をする事
7. 罪 正当化する事

成功の秘訣10

1. 目標は1つだけにする。
2. 以前立てた目標は避ける。
3. ごく普通の目標にする。
4. 数日じっくり考える。
5. 細かくポイントを設定し、1つずつクリアしていく。
6. 自分にプレッシャーをかけ、サポートを得るために友人や家族に目標を話す。
7. 定期的「達成するとどう良くなるのか」を書き出し、利点を考えるようにする。
8. モチベーションと進歩の感覚を守る為、1つの段階をクリアしたら褒美を与える。
9. 達成までの計画やプロセスを記録し、グラフや絵を使って分かりやすく示す。
10. 心が折れそうときは諦めるのではなく、一時的に前の習慣に戻ったと解釈する。

ピーター・ドラッカー

- 成果をあげる人とあげない人の差は才能ではない。

いくつかの習慣的な姿勢と、基礎的な方法を身につけているかどうかの問題である。

- 人に教えることほど、勉強になることはない。人の成長の助けとなろうとすることほど自らの成長になることはない。
- 重要なことは、できないことではなく、できることである。

取引ルール参考

<W・ギャンー 28のルール>

第01条資金管理と損失限度－資金管理は基本中の基本。資金配分を厳密にすること。売買に用いる総資金を10等分し、1回の売買における損失限度は総資金の10分の1にすること。

第02条ストップロスとは必須－ストップロスを必ずおくこと。損失限度を計算した上、ポジションを持つと同時にやること。

第03条オーバーポジション厳禁－過剰な売買を決してしないこと。資金配分に従ったポジション量を厳守すること。

第04条トレーリングストップ－利益を確保した後は損失とにならないように、ストップロスを変更すること。

第05条トレンドフォロー－トレンドに逆らわないこと。トレンドに確信が持てないときは売買しないこと。

第06条迷いは禁物－迷った時は手仕舞うこと。迷った時はポジションを持たないこと。

第07条流動性とボラティリティー活発に売買され、値動きのある市場で売買を行うこと。

第08条リスク分散－リスクを分散し、資金の集中を避けること。

第09条指値注文の禁止－指値をしてはならない。売買の価格を決めず、成り行きで売買すること。

第10条手仕舞いルール－確固たる理由なしに手仕舞いしないこと。

第11条余剰資金－実現利益は別勘定として保有すること。

第12条小利益売買の禁止－わずかな利益狙いの売買をしないこと。

第13条難平禁止－難平（ナンピン）は決してしてはならない。これはトレーダーがするかも知れない最悪の失敗の1つである。

第14条待つことの重要性－我慢できずに手仕舞いしたり、待ちきれずにポジションを持たないこと。

第15条利小損大の禁止－小さな儲けと大きな損は避けること。

第16条ストップロスキャンセルの禁止－ストップロスは決してキャンセルしてはならない。

第17条第17条頻繁売買の禁止－過剰に頻繁な売買は避けること。

第18条ショート活用の活用－ロング（買い）だけでなくショート（売り）も活用すること。

第19条値頃感の禁止－決して値頃感で売買してはならない。

第20条ピラミディングのタイミング－ピラミディング（買い増し、売り増し）のタイミングに注意すること。

レジスタンス・サポートをブレイクしてから買い増し、売り増しをすること。

第21条ピラミディングの選択－買い増しする時は強い上昇トレンドを示すもの、

売り増しする時は強い下降トレンドを示すものを選ぶこと。

第22条ヘッジの禁止－同業種他銘柄、あるいは他限月の反対売買等のヘッジ行為はしてはならない。

第23条理由とルールに基づいた売買－明確な理由なしにポジションを変えないこと。

明確な理由の元、明確なルールに従って売買を行うこと。

第24条利益確保後の売買の禁止－十分な利益を確保した後は、意味のない頻繁な売買を行わないこと。

第25条天底に関する憶測の禁止－相場为天底に関して勝手な憶測を行わないこと。

第26条不確かな助言による売買の禁止－自分より優れた人の場合を除き、他人の助言に基づいた売買は行わないこと。

第27条損切り後の資金量縮小－損切りを行ったら、取引量を減らすこと。決して増やしてはならない。

第28条不適切なポジションメークと手仕舞いの禁止－不適切なポジションメークと手仕舞いを避けること。

twitterから集めました。

ごもっともというものや、これはちょっとないなあというものなど、

自身のスタイルや取引スタンスで必ずしも当てはまらないルールもありますので、取捨選択をしてルール作りの参考にして下さい。

メモ

黄金比率

□

黄金分割比率は、「0.618対0.382」、または「1対0.618、1.618対1」の比率。
黄金分割は、本来あるべき美しい姿を表している比率とされ、見た目に快く感じられる比率。

古代ギリシャがルーツとされており、ピラミッドやパルテノン神殿、ミロのビーナス像、くもの巣、十字架、トランプなど、自然界から身の回りまでありとあらゆるところで見られる。自然界に多くあふれる黄金分割比率やフィボナッチ数列を、マーケットの値動きにもあてはめ、相場の戻り測定や上値目標値を計算する場合に用いられている。

一目均衡表

時間論・波動論・値幅観測論の三大骨子からなる株価予測

基本数値

09 一節
17 二節
26 三節（一期）
33 一期一節
42 一期二節
65
76 三期（一巡）
129
172
200-257

経験則

- 買い場3で割って2あまる月の15日頃（2,5,8,11 GDP）
- 売り場3で割って1あまる月の10日頃（1,4,7,10 短観）

用語解説

よく使う用語

- PER (Price Earnings Ratio) 株価収益率

株価が利益の何倍まで買われているかを表します。

市場平均や同業種などで比較し割高・割安を判断します。

計算式

$$\text{PER (株価収益率)} = \text{株価} \div \text{EPS (一株当たり利益)}$$

- PBR (Price Book-value Ratio) 株価純資産倍率

株価が純資産の何倍まで買われているかを表します。

1倍割れは企業の解散価値を下回る為、1倍は株価の支持ラインになります。

計算式

$$\text{PBR (株価純資産倍率)} = \text{株価} \div \text{BPS (一株当たり純資産)}$$

- EPS (Earnings Per Share) 一株当たり利益

一株に対して最終的な当期利益 (当期純利益) がいくらあるかを表します。

計算式

$$\text{EPS (一株当たり利益)} = \text{当期純 (税引き後) 利益} \div \text{発行済み株式数}$$

- BPS (Book-value Per Share) 一株当たり純資産

企業の安定性を見る指標、BPSが高ければ高いほど、その企業の安定性は高くなります。

計算式

$$\text{BPS (一株当たり純資産)} = \text{純資産} \div \text{発行済み株式数}$$

- ROA (Return On Asset) 総資産利益率

投下された総資産が利益を獲得する為に、どれだけ有効に活用されているかを表します。

計算式

$$\text{ROA (総資産利益率)} = \text{売上高利益率} \times \text{総資産回転率} \times 100$$

$$\text{売上高利益率} = \text{利益} \div \text{売上高}$$

$$\text{総資産回転率} = \text{売上高} \div \text{総資産}$$

- ROE (Return On Equity) 自己資本利益率

企業の株主資本に対する当期純利益の割合、自己資本収益率は株式の投資尺度としても重要です。

自己資本利益率を高めることは、

EPS (一株当たり利益) の上昇につながり、将来的な企業利益上昇の期待から株価上昇に繋がります。

(企業の将来価値を金利等で割り引いた、企業の現在価値の上昇につながる)

計算式

$$\text{ROE (自己資本利益率)} = \text{EPS (一株当たり利益)} \div \text{BPS (一株当たり純資産)} \times 100$$

● キャッシュフロー（Cash flow）資金の流れ、流入・流出

営業CF 企業の営業活動から得られたお金。「+」で当期利益よりも大きい程安定している。

投資CF 設備投資、有価証券の購入・売却、資金の貸付・回収など投資活動で生まれる資金。

「-」の方が将来に向けた投資・事業計画が進んでいる公算が大きい。

フリーCF 営業CFと投資CFの和。企業が配当、自社株買い、負債軽減などに自由に使える資金。

「+」なら企業の手元に残っている事を、「-」なら支出超過を示す。

財務CF 営業活動と投資活動を維持する為に、どの程度の資金を調達し、返済したかを示す。

「+」なら借入金など外部資金の調達を、「-」なら借入金の返済の公算が大きい。

● モメンタム（Momentum）相場の勢い・強弱

逆行現象：相場は上昇(下降)しているのにモメンタムはその逆で下降（上昇）している状態。

モメンタムは相場に先行して動くという特徴があり、

相場がピーク（ボトム）をつける前にモメンタムがピーク（ボトム）をつけ、

それがトレンドの反転・終息のサイン。

買われすぎ/売られすぎは、前回モメンタムが反転した水準を参考にするという方法があります。

● オシレーター（Oscillator）相場の振幅

日々の値動きから、相場の強弱を表す指標であり、0~100、あるいは、

マイナス1~プラス1のように表示される範囲が決まっていたり、ゼロラインを挟んで上下に振幅する

株価の絶対水準とは無関係に売り・買いのシグナルが発信される。

東日本大震災の影響 一週明け一週間の記録

3/14 (月)

東証は株式、先物、オプションその他の全ての相場商品について通常どおりの売買を行う事と発表

9:04 TOPIX先物を一時取引停止処置 サーキットブレイク

日経平均寄り付きは210円安、その後下げ幅拡大中、前引け464円安、大引け633円安

日経平均はとりあえず寄り付いた銘柄で値を付けるので全部が寄り付いた時は値段的には下がっているように見えるが、

多くの銘柄は寄り付きが安値になっていてその後買われて上昇しているものが目立つ。

33業種中32業種大幅全面安のなか **建設業のみ6.4%上昇**

福島原発の事故の影響で各社工場の操業停止（予想以上に業績に影響の可能性）

栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡で計画停電を実施（3/14-4月末）

日銀が先手を打った、即日オペ7兆円の資金供給実施、追加でさらに3兆円、+さらに5兆円

補償の支払いに備える日本の保険会社や、リスクを嫌い現金で円を保有したい日本の投資家が外国資産を売却し、

資金を国内に還流させるリパトリエーションが起きるとの観測が台頭した。

（3/14とりあえず計画停電の中止、実施見送り中）

南アルプス市は第2グループ

東電広報部によると「需要が想定を下回っており、供給力に余裕があるため、停電を実施する必要はないと判断した」だそうです。

ホワイトデーのホの字も聞かない1日だった・w・

3/15 (火)

追加の即日オペ5兆円の資金供給、追加で3兆円、2日間で23兆円、円高阻止に頑張る日銀

3日以内にM7規模の余震が来る確率70%の予測報道

地震の傷跡や復興のメドよりも、現在進行中の原発事故がさらに不安を煽る

普通の地震なら、地震、余震、復興の不安だが、今回はさらに巨大津波が襲い、

進行中の原発事故、と時間がたっても遠く離れた地域にも電力や製造、流通、物資など

多くの問題や影響を与えている。

近所のスーパーでも、使用電力を控える為工場が生産を中止し、物が無い、入ってこない、

品切れ状態という店が多い。

ちょっとここまで影響があるとは予想できなかった。

改めて電気の大切さ、生活の影響度などを実感、電気がないと何も出来ない 🏠

朝の寄り付き前に、板の状況から昨日の安値の2450円で5000株全部一旦買い戻し、ポジションクリアして様子を見ようと思い指値注文。

寄り付き2500円スタート、開始20分で指値を越えあつという間に注文成立、その後も30分下げ続け10:30頃まで2400円で揉み合い。

地震後2日目のマーケットも昨日同様のキツイ下げである。

10:30過ぎリバウンドの動き、

一時2445円までいったが、買いが続かず前引けは2411円

久しぶりに、ソフトバンクでも買ってみようかと2950円で打診買い注文入れるもワンタッチして上昇し買えず、

始まり値の3000円まで回復してしまった。前引けは2990円

前引け後、先物が200円以上超急落しているのでソフトバンクの注文を取り消し

多分首相が放射物質漏洩の危険高まる、30キロ圏内は屋内退避のニュース速報によるものと推測

大証が日経平均先物にサーキットブレイク、一時取引停止措置

官房長官の、4号機も火災、原発付近では人体に影響する数値のニュース速報

いったい何号機まであるんだっ！怖すぎる 🏠

地震の問題から、一気に原発、電力供給問題にすりかわってきた感じがする

超異常事態、昼休みの間だけで先物が1000円近くも下げている、恐ろしい下げっぷりだ、
「頭と尻尾はくれてやれ」どころか俺の利益が頭と尻尾になりそうな勢いだ。

「逸失利益は損失よりもましである」

取り損ねた利益は、損益よりもましという過去の人のありがたい慰めの言葉（言い訳とも言うw）
本当によくお世話になる言葉である 🙏

2時過ぎ、先物が戻ってきて安心感や買戻しなどで下髭が長くなってきた。
しかし状況が改善した訳ではない。
行き過ぎには逆向かえて事で短期的に荒れそうな気配、今週いっぱい様子を見ている事にする。

本日のデータ

東証1部売買高 57億7715万株 （過去最高）
東証1部売買代金 3兆0947億5900万円 2008年1月以来の高水準

福島原発放射能漏れ問題 -10.55 2011/03/15
下落率では歴代3位、下げ幅では17位

- 1位 ブラック・マンデー -14.90 1987/10/20
- 2位 リーマン・ショック -11.41 2008/10/16
- 3位 スターリン・ショック -10.00 1953/03/05
- 4位 リーマン・ショック -9.62 2008/10/10
- 5位 リーマン・ショック -9.60 2008/10/24

北米プレート3/11、ユーラシアプレート3/11、フィリピン海プレート3/15の順で震度5以上の地震発生。
ニュージーランドの地震も影響しているのだろうか？あとでニュージーランドのプレートは何か調べてみようと思う。
新燃岳はどこへ、あの人は今！てきな？

ニュージーランド、北島全域と南島北部はオーストラリアプレートに、
南島中央部・南部が太平洋プレートに乗っています。
北島では太平洋プレートが東から西へ年間約8cmでオーストラリアプレートの下に沈み込んでいますが、
南島南部ではオーストラリアプレートが西から東へ太平洋プレートの下に沈みこんでいます。
この両者の中間にある南島中央部では横ずれ断層が発達しています。

ニュージーランドも半年以内に同規模の地震が発生してるから注意が必要だ！

3/16（水）

日銀追加の3.5兆円即日供給
原油・ガソリン先物でサーキットブレイク

今日の計画停電は、16：00-19：00 マーケットが終わってから少し暗くなる頃まで！
何も影響がなく、超良い時間帯だ・w・

NYが一時300ドル下げても200ドル戻した事で、東京も少し落ち着きを取り戻し全般的に戻し歩調
だいたい昨日の下げの半分弱くらいの戻しスタート。
予想通り、乱高下の銘柄が目立つ、
1時間経っても上げた分のギャップを埋めるまで下げる弱い銘柄はほとんど見当たらない。

前引け 始値より下回ってス銘柄も半数近く見られるが 昨日の終値より引けで推移しているものがほとんど

前引け、知識がなければ相場が不安定になるが、昨日の相場は予想以上に暴落しているように見えた。

昨日程ではないが前引け後、先物が下落している。

東京電力は今日もストップ安に張り付き、株価急落の問題は東電とみんなが認めているようだ、東電が寄り付いたら少し落ち着くかもしれない。

各社のCDSも軒並み急騰 <http://www.j-cds.com/jp/index.html>

大引けの東電の売り株数があと100万株くらいなので、明日なにもなければ場中に値が付きそう

先物が朝9000円をつけてから、じり安だったが、2時過ぎに特に理由も見当たらず急騰
いろんな銘柄でN字、M字、W字の動きで乱高下、明日は明日の風が吹く、風見鶏相場の様相
見るだけでも疲れてくる 🤔

3/17 (木)

日銀 今日追加で5兆円の即日オペ

為替が一気に3円も上がっていて、昨日の戻しを戻しての始まり

ソニーは一昨日揉み合った2400円、-128円スタート、

MAもトレンドラインも、指標も何もないところで、抵抗、支持のひとつの目安になりそう。

後場は計画停電でまるまるチェック出来そうも無い、デイトレもなかなか難しいので様子見。

東電の原発ほぼ壊滅状態、(新潟の方も中越地震の影響で順調ではないらしい)

青森の方の原発着工も当然延期か中止だろう

停止や休止中の火力発電を徐々に立ち上げても、計画停電はずっと続きそう 🤔

4、5、6はもっても7、8、9月の電力需要期は耐えられそうも無い。

風力や太陽光で自家発電を真剣に考えさせられるハメになるのか!! 不安 🤔

東電や政府、東電がスポンサーのマスコミ、正しい情報を入手出来ないマスコミ、

希望的観測で信じていたが、遅々として進まない現状を見ていると、

すでに放射能はかなり漏れていると見た方がよい。

どれだけ少ない量で済ませられるかの勝負中といったところか。

いつも人知れず正しい情報のアクセスジャーナルの記事もうなずける。

http://www.accessjournal.jp/modules/weblog/details.php?blog_id=5091

ガンが死亡原因1位なのは放射能汚染が原因なのかと思ってしまう。

ヘリから放水して冷却とか、すでに人が近づくのが危険と言っている様なもの!

予防的措置とか言いながら退避する距離が80 mまで拡げられてる!

やはり東電狙ってた人多いらしく、寄り付き後激しすぎる値動きw

アクセスジャーナルの記事を見る前は、放射能が漏れないように頑張ってる意味も込めて、

東電買いから入るつもりでいたが・・・見た後では買えなかった。

逸失利益は損失よりもましである。今日もお世話になります 🤔

短期的な動きなので結局は下がってきてお帰りなさい、お疲れ様と。

原発問題早期解決次第、回復するか紙くずか、紙くずにならない事を願っています。

朝の驚きの円高も、一昨日の安値を割り込まない事で安心感から徐々に値を戻す展開、

しかし値を戻すよりも、下値を確認して固める方が安心できる。

後場、なにしよう 🤔

後場思ったより戻してる、長期的には8千円台は買いの水準ってところか。

皆が取引出来るのに、自分だけ出来ない状況とか、こんな不安定な時は特に不安、

ポジションを取っていたら尚更だ。

時間を潰すのも電気がないと何も出来ない、毛布に包まって寝るだけの「ネシマ作戦」しか思いつかない。
たった3日だけで、おっさんの睡眠リズムはガッタガタでござす。
計画停電長引きそうなので、真剣に寝シマ作戦以外の方法を見つけねばっ！

3/18 (金)

地震の影響日記最終回

ヨーロッパやNYが1%以上上昇し、円も徐々に急騰前に戻しつつあり少し買い安心感
21日が春分の日で3連休なので、引けにかけ多少多めのポジション調整予想かな

本日の計画停電は、9:20-13:00 と 17:30-20:30 の2回

今週いっぱい様子見を決めていた分ストレスは抑えられているが、来週以降も続く事を考えるとやり辛い。
普通に仕事している人たちも仕事にならないと思う。
地震の影響がはっきりと業績に現れてくるのは1-3決算発表の5月あたりか。

G7の電話会議で、協調円売り介入で合意の速報で一気に円安方向に動く
東電は今日は一転して買い気配スタート

今日はなにしよう

先週巨大地震があったのが嘘のような、ぼかぼか陽気の一週間後。
本日二度目の計画停電は陽気のお陰で見送り。

ソニーは2400を目安に、2400以下は買い、2500以上は売りの様相
電力不足、工場停止、復旧作業、など等、徐々に地震の影響を織り込みに入っているのか。
今のソニーの利益水準なら2100円でもちょうどいいくらい、やはり人気先行銘柄の分少し割高。

昨日、今日と渦中の東京電力は出来高、代金ともダントツトップ、短期長期資金入り乱れ、
乱高下しながらも上昇中。
本日はS高の高値引け、そんなに上がるなら最初から売らなきゃ良いのにw

土・日・月と何も無く無事過ごせる事と、東電の責任問題のみ厳しくなる事を願うw

個別銘柄分析 (5411) JFE

今回弟子の感性にひっかかったトレンドマイクロ(4704)とJFE(5411)について分析してみましょう。

別銘柄の分析については、分析した時点での個人的な見解です。

この人こういう分析をするのね的な雰囲気をお願いします。

分析日時 2011年03月13日21:20

JFE (5411) について

ファンダメンタルズ分析

3月決算、業種は鉄鋼業

粗鋼国内2位のJFEスチール、造船、エンジニアリング等が傘下。韓国、中国等で提携先多い

四季報記者の分析

底離れ：円高で輸出縮小。建材弱いが自動車、電機向け好調続く。建機用も回復。原料高は価格転嫁で吸収。

増配。12年3月期は板類中心に堅調。訴訟関連特損消える。

アジア：タイ溶融亜鉛メッキ工場設立。13年4月稼働し自動車向け現地供給。豊田通商等とベトナム鋼管買収、

インフラ需要開拓。99年のJFEエンジ焼却炉談合は課徴金57億円、関連訴訟賠償金支払いで結審。

その他気になる事

海外展開の為替の影響度

商品先物など原材料の高騰の影響（原料高は価格転嫁で吸収らしい）

今回の地震の影響は、被災工場軽微、流された自動車、船等の需要が発生するので若干プラス

予想PER(連結・倍) 21.8 東証一部全体では普通

PBR(連結・倍) 1.07 東証一部全体ではちょい低め

その他225銘柄の場合225銘柄の平均や、業界水準と比較する事も有効

ROE 3.2% 予8.0%

今期の利益予想と来期の利益予想を比較すると440億円とまあまあ

テクニカル分析

日足：5日前に今年最安値、短期的にはちょっと下げ過ぎのところがあるが、

今の株価でもこの会社の利益や成長性を考えると安すぎるということは無い水準。

週足：もう少しでボリンジャー2σを超えそうな水準と順調に下げているが、去年の最安値2452を試しに行きそうな展開、26週乖離は約7%ともう少し余裕がある。

月足：RSIが36.5と低いためそろそろリバウンドがありそう。

全体的に、短いMAが長いMAより下にあり、株価は短いMAよりさらに下にある典型的な下げトレンド

日足、週足、月足のRSIが低いのももう少し下がったらリバウンドがある可能性が高い

株価よりも下に心理的な¥2000が下支え、テクニカル的には去年の週足安値が下支え

下げ幅と期間が結構きついでトレンドの反転には時間がかかりそう、

今の株価水準もそれ程価値的に低すぎないのも反発に時間がかかるとみる一因

この場合の反発のパターンでよく見るのは2つ

何かをきっかけに勢いよく反発するパターンと

下げトレンドで底値を確認する為暫く横ばいしてから力を貯めたあと反転していくパターン

よって

JFE(5411)の分析結果は下げトレンド中もう少しでリバウンドの可能性が高い、

トレードするのならばリバウンドを確認してから買いから入る、今から売りで入るのはちょっと遅いので危険

今の株価水準でもそれ程価値的には低すぎず高すぎずの水準

リバウンドは下げトレンドの中のリバウンドの可能性のある事を認識しておく必要がある

下げている期間が長いのでリバウンドはその期間よりも短く、上昇にもパワーが必要になる

地震の影響で需要を見込んだ買いで月曜から上がる可能性がある

チャートの型はテクニカル的にはトレンドマイクロとさほど変わらないように見えるが ファンダメンタルズの分析により

トレンドマイクロはテクニカル的にはトレンドマイクロはここを安値と見なすに決まっているが、トレンドマイクロはここから買えば、トレンドマイクロより安心して買いから入れる事がわかる。あとはリバウンドのタイミングを計って慎重に買うだけ。

>トレンドマイクロと共に

>今の株価でもこの会社の利益や成長性を考えると安すぎるということはない水準。

>とありますが、これは何を基準に判断ができるのでしょうか？

>また、26週との乖離率は100を基準にして上下何%と見ればいいのでしょうか？

>また、100を下回っている場合と上回っている場合の違いはなんですか？

判断基準は、価値観と同じだと思うので、人それぞれの判断でだいぶ違いがでると思っています。

参考にする指標ひとつとってもこっちの指標では安いけど、こっちの指標では高くなるという様な事が起きてきます。

私の場合は一つはPERやPBRの指標で判断しています。

ここを参考にしてください

<http://wariyasukabu.com/per/per-top.html>

両銘柄とも東証1部で225銘柄ですが、

東証1部には33業種色々な銘柄があるので東証1部平均と比べてもあまり意味がないかもしれません。

PERで割安度を判断するには同業種・同市場銘柄との比較が基本です。

トレンドマイクロは東証1部の情報・通信業

JFEは東証1部の鉄鋼業

銘柄数をクリックで同業他社と比較できます。

トレンドマイクロは、テクニカルやファンダメンタルズではJFEに見劣りますが、IT業界という期待値が高く、これからますます普及するであろうスマホやタブレット端末向けに低コストで良いウィルス対策ソフトを開発すれば、一発逆転という考え方もあります。

JFEは基本製造業なので良くて堅実な成長しかありません。研究開発部門が存在するかわかりませんがw

レアアースを一切使用しない鉄より軽く、強度のある新素材を開発すればこれまた一発逆転という事もあります。

ニュース、情報、四季報、興味のある事にアンテナを張り、風が吹けば桶屋が儲かる的な発想で色々考えるのも楽しいですよ。

そうやって色々な業種の企業を調べていくと自然に、自分の中で基準や価値が定まってくると思います。

そうなってくると株価だけで、「おっ今安いね（高いね）」とかってなってくると思います。

>また、26週との乖離率は100を基準にして上下何%と見ればいいのでしょうか？

その銘柄によって違ってくると思います。

日経平均とかで言われている一般的な数字とその銘柄の数字は必ずしも当てはまらない事が多いからです。

過去を遡ってその銘柄が上下どのくらいまで行ったことがあるとか、大体このくらいで反転するとかを調べる必要があります。

>また、100を下回っている場合と上回っている場合の違いはなんですか？

26週MAの乖離率が100という事は、例えば26週MAが1000円だったら株価が1000円という事になります。

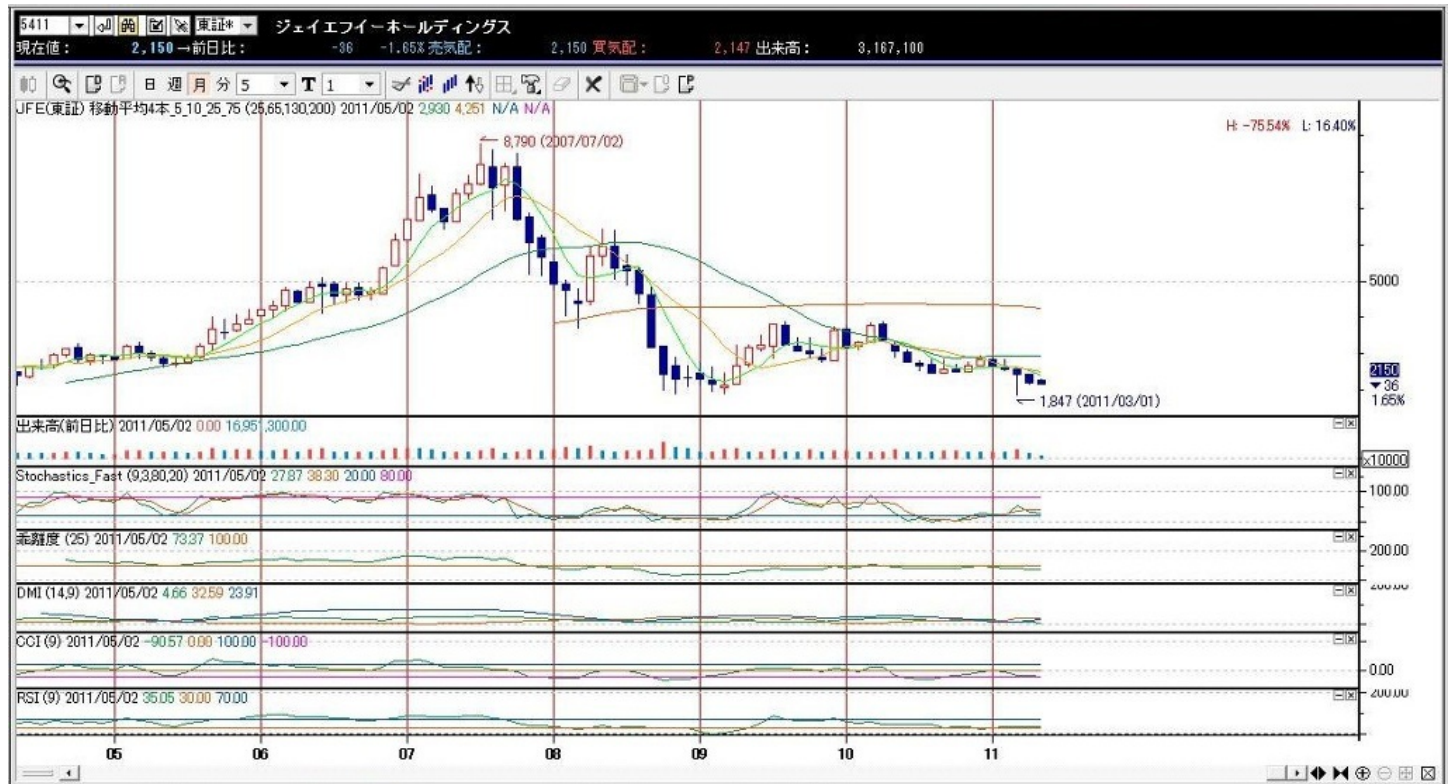
乖離率95で-5%という事は、26週MAが1000円の場合、株価は950円という事になります。

プラスはその逆で105は+5%で、26週MAを5%上回っているので26週MAが1000円だったら株価は1050円という事になります。

分析2ヵ月後の検証 (5411) JFE

(5411) JFEホールディングス 検証日時 2011年05月13日 16:45

月足：下げトレンド継続中、ここ数年の安値に接近中



週足：短期的にリバウンド後、移動平均線に押されて下げトレンド継続中、震災後安値に接近中



日足：震災後短期的にリバウンド後、移動平均線に押されて下げトレンド継続中、震災後安値に接近中、2000円は心理的節目



個別銘柄分析 (4704) トレンドマイクロ

個別銘柄の分析については、分析した時点での個人的な見解です。
この人こういう分析をするのね的な雰囲気をお願いします。

分析日時 2011年03月13日21:09

トレンドマイクロ(4704)について

ファンダメンタルズ分析

12月決算、業種は情報・通信業

ウイルス対策ソフト国内首位、世界3位。仮想環境のセキュリティ注力。翌四半期のみ予想開示

四季報記者の分析

緩 慢：国内、アジア圏は好調だが北米競合厳しく利益低下。円高も響く。

配当性向は60%メド。11年12月期も国内が堅調持続。欧州の企業契約数も徐々に伸長。

ソフトウェア償却負担あり営業利益回復緩慢。

新 規：PCの負荷を80%軽減したクラウド型PCセキュリティの海外展開で拡大図る。

ストレージはじめ家庭用ネットワーク向けの情報セキュリティ対策にも本腰。

その他気になる事

最近の無料のウイルス駆除ソフトの影響や同業他社の動向

クラウド化やスマートフォンの対応

海外展開の為替の影響度

今回の地震の影響は本社や営業所が東北に無いのでほぼなしとみてよい

株式の比率が<外国>67.6%と高く、<浮動株>3.8%と低すぎる

予想PER(連結・倍) 24.9 東証一部全体ではちょい高め

PBR(連結・倍) 3.34 東証一部全体では高め

その他225銘柄の場合225銘柄の平均や、業界水準と比較する事も有効

ROE 17.2% 予13.6%と思っていたよりも高い

今期の利益予想と来期の利益予想を比較すると5億円で伸び率としては少ない

年末・年始になるとソフトの更新時期や新種のウイルスの発生により突然株価が急上昇する事がよくある

テクニカル分析

基本は日足チャートですが、週足、月足、年足も一通り見ます。

実際にポジションを取る段階になると60分や15分等の分足も活用する事になります。

日足：今年最安値、短期的にはちょっと下げ過ぎのところがあるが、

今の株価でもこの会社の利益や成長性を考えると安すぎるということは無い水準。

週足：もう少しでボリンジャー2σを超えそうな水準と急激に下げているが、去年の最安値2134を試しに行きそうな展開、26週乖離は約5%とまだ低い。

月足：RSIは50弱とそれ程低くないため下げトレンドは長引きそう。

全体的に、短いMAが長いMAより下にあり、株価は短いMAよりさらに下にある典型的な下げトレンド

日足と週足のRSIがもう少し下がったら自立反発があるかもしれないが短期的

下げ幅と期間が結構きついで反発の威力は弱そう、今の株価水準もそれ程価値的に低すぎないのも反発が弱いとみる一因

よって

トレンドマイクロ(4704)の分析結果は下げトレンド中もう暫く継続、

買いから入るのは危険、今から売りで入るのもちょっと遅いので危険

あえてトレードするのならば自立反発を待ってピークを付けたあとに空売り。

でもそれだと安全な分だけ時間がかかる事になる。

暫くは様子見で、その時間を他の銘柄の分析や取引にあてれば資産も時間も効率が良い。

分析2ヶ月後の検証 (4704) トレンドマイクロ

(4704) トレンドマイクロ 検証日時 2011年05月13日15:10

月足：震災後若干戻り歩調、来月も陽線ならトレンドの転換もありうる。



週足：震災後安値探り合い、ソニーのセキュリティの件が影響したのかトレンドを突破挑戦中（↑）



日足：震災後安値積み合い、3週間くらい前から戻し歩調200MAで抵抗中、全体の相場状況から超えてくるのは難しそう。



個別銘柄分析 (2432) DeNA

グリー (3632) と DeNA (2432) の比較

借金もないし、ROEも高いし、スマホやタブレット端末イケイケだし言うことなし！
グリーも良いけど、グリーと比べればわかるけど、DeNAの方が1株利益2倍以上もある
理論的にはグリーの時価総額よりDeNAの方が2倍以上あるのが普通

時価総額

グリー株数 229,020,000株×1,650円=377,883百万円

DeNA株数 150,806,064株×3025円=456,188百万円

考えられるパターン

- 1..グリーが割高
- 2.DeNAが割安
- 3.グリーが割高でDeNAが割安

今期のPER

グリー $1650 \div 71 = 23$ まあ普通、高くもなく安くもなく 直近の株価が指数高めなだけ

DeNA $3025 \div 218 = 13.9$ 低い、今の東証一部平均だいたい20倍くらい

東証一部平均で $20 \text{倍} \times 218 \text{円} = 4360 \text{円}$

グリーの23倍で $23 \text{倍} \times 218 \text{円} = 5014 \text{円}$

ゆえに2番か若干3番でDeNAが割安、DeNAの株価は安くても4000円以上が妥当という事です (・∀・)